

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

ニュース 第19号

品川区が2007年度予算案を発表・・・

「子どもの医療費無料化」、 ついに中学まで完全拡大!



シルバー大学の修了式に出席してきました。いくつになっても学びたいという気持ち、大変共感するところがあります。自分も派遣会社勤務時代、新聞奨学金を受けながら漫画の専門学校で学び直そうと本気で考えたこともあります。つい一年前のことなんですけど。



漫画：安藤たい作

日本共産党品川区議団は、今度は老人医療の無料化に向け、風穴をあける大運動を区民の皆さんと力合わせて行っていききたいと燃えています。

もあります。

同じ資本主義国のヨーロッパでは医療費無料が当たり前。日本でも革新都政時代の老人医療費無料化政策が日本全国に広がっていった経験もありません。

はじめ高橋区長(当時)は「医療費無料化につながる」と消極的。共産党以外の自民・公明・民主のオール与党も「区長がやると言わない提案には賛成できない」などと区民の願いに背を向け続けてきました。しかし保育問題協議会の毎年の請願署名運動には十万筆集まることも。それと合わせた共産党の92年から10回にわたる条例提案、これらが区を動かしました。一旦空いた風穴は十四年の歳月を経、義務教育までの医療無料にまで拡大したわけです。

同じ資本主義国のヨーロッパでは医療費無料が当たり前。日本でも革新都政時代の老人医療費無料化政策が日本全国に広がっていった経験

今度は老人医療の無料化を

共産党席からも思わず「拍手」

去る2月1日、品川区側より日本共産党区議団に対して07年度予算案の説明があり、「子どもすこやか医療費助成」(医療費無料制度)の対象が、現在の小学6年から中学3年まで拡大する予算が盛り込まれることが伝えられました。「一歳までの所得制限あり」でスタートした子どもの医療費無料化制度。それがついに「所得制限無し」「外来・入院を問わず全ての保健医療の自己負担額と入院時食事標準負担金を助成」という、義務教育までの「完全無料化」が実現した瞬間でした。報告の瞬間には区議団側の席からは思わず拍手が巻き起こりました。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。